

ご縁・出会い・DEI クラブの成長は多様性から

国際ロータリー第 2580 地区
2023-24 年度ガバナー

栃木 一夫

東京ベイロータリークラブ移動例会
進水式見学会にて



10 年も前でしょうか、以下に記した新聞の 1 面広告をメモしておいたのを思い出しました。

桃太郎はなぜこの 3 匹を仲間にしたのか

桃太郎はなぜ犬、サル、きじという三者を仲間にしたのか。そこには桃太郎の明確な戦略がありそうです。おそらく桃太郎は、チームに多様性を取り入れ、ある種のケミストリーを起こそうとしたのではないのでしょうか。最初は合わないこともあったかもしれませんが、でも心を開き認め合う事が出来れば、個性の違いはお互いを高めあうきっかけになります。違うから視野が広がる、発見がある。成長できる。強くなれる。

違うから人は人を思う。

これからの多様性の時代に私たちが学ぶべきことがそこにあるような気がします。

日本の均質性はマイナス要因？

ロータリーの友 2023 年 7 月号の元厚生労働事務次官、村木厚子さんのスピーチで、ラグビー日本代表チームのエディー・ジョーンズ氏のインタビューが取り上げられていました。外国から優秀な選手を連れてきただけでは日本のラグビーは強くならず、外国人選手と日本人選手が少しずつ時間を掛けて、自分たちのラグビーを作り上げた時から日本のラグビーが強くなったとのこと。それはスポーツの分野にとどまらず、組織でも一緒に、似たようなメンバーであれば結束が早い。多様なメンバーが揃うと様々な苦労があり、結束も時

間が掛かりますが、得意技が違う人が集まったことにより、より強いチームが出来上がる。女性がいると生産性が上がらないと言われますが、多彩なバックグラウンドの人を集めてチームを一つにできないのはリーダーの責任ではないかと？日本は均質性をもった社会であり、そこに新しい異分子を入れるのは大変です。変化は必要なく、今まで通りが一番良い。そうすると進歩がない。日本が誇る均質性が、日本のマイナス要因になり得るとのこと。似たような言葉で「同調圧力」というのも日本社会特有の言葉です。近年日本ラグビーは大きな進歩を成し遂げていますが、私たちが目指す組織のあり方の一つを示していると思います。**あらゆる人々を癒し社会的偏見をなくすために DEI の促進を継続する**

《DEI の最も重要な側面は、ロータリーを、どこからであれ最高の人材、最高のアイデア、最高のパートナーシップを受け入れるオープンでインクルーシブな組織にすることです。》本年度 マッキナリー RI 会長のメツツセージです。DEI については絶えず学び、向上し続けていかなければなりません。コロナで外出がかなわなかった頃、当時話題の韓国ドラマ「愛の不時着」を見ました。韓国の財閥令嬢と北朝鮮の堅物将校とのラブコメです。このドラマの中に「(北朝鮮の)事情を分からないと人は先入観を持つ」というセリフがありました。DEI の促進には先入観は禁物です。すべての門戸を開放し、まずは、クラブの多様性を図りましょう。そして学びと対話を行い、異なる視点を理解し、誰もが活躍できる「文化」を作りましょう。

仲間を増やすためのワークショップ—会員増強と DEI—開催報告

地区拡大増強委員長 嶋村文男（東京東江戸川 RC）

●開催の経緯

今年度、栃木一夫ガバナーの方針の下、年度の早い時期での「会員増強セミナー」の開催について、8名の地区



区拡大増強委員会メンバーと検討してきました。基本構想はテーブルディスカッションをメインとしたラーニングモデルと決め、参加者が「対話」を通じて多様な意見を出し合い、お互いに学び合う事を目指しました。テーブルディスカッションでは、委員会メンバーに加え、ガバナー補佐の方々にもファシリテーターとして、ご協力いただきました。事前 zoomMTG も開催して準備を行い、私も含めてファシリテーターを担当した皆さんも、大変良い経験になったと思います。ファシリテーターの皆さんに改めて感謝申し上げます。

●開催内容

[在京]	2023年8月28日（月）	東天紅上野本店
		参加者 130名
[沖縄]	2023年9月8日（金）	パシフィックホテル沖縄
		参加者 44名

テーマスピーチ後のメインのテーブルディスカッションを2回、其々約60分で行いました。参加者は、クラブ会長、会長エレクト、会員増強委員長等、1テーブル6名～8名として、同じクラブメンバーが同席しないようにして、以下のテーマをディスカッションしました。

①「持続可能な元気なクラブを実現しよう！今あなたには、何が出来ますか？」

②「居心地の良いクラブを作ろう」

初めに、テーマスピーチの感想をアイスブレイクとして共有し、各クラブの会員増強の状況や方針などを話し合っていました。自クラブとの活動の違いについて、多くの方に新しい気づきを体感して頂きました。

2つめのテーマ「居心地の良いクラブを作ろう」では、既にリラックスした雰囲気の中での始まり、様々な意見が出されました。そして、今回の大きなテーマでもある【DEI】についても、その捉え方にばらつきはありましたが、クラブの成長の為には、DEIを理解し、ストレスのない元気なクラブ作りを目指しましょうとまとめていただきました。

●テーブルディスカッションで語られた意見や取組

2回のワークショップのテーブルディスカッションで語られた意見や取り組みについて、ご紹介します。

◎退会防止の取り組み

- ・入会2年未満までの退会率が高いことを意識して、孤立しないような声かけとロータリーの研修が大切である。メンター制度を導入して新会員をサポートする。
- ・夜の懇親会（家庭集会）での対話が大切。ワインの会等の同好会や同年齢の会も有効である。旅行会を計画して、寝食を共にして仲間意識を高め合う。

◎会員増強の取り組み

- ・職業分類表を活用して、クラブ会員全員での入会候補者探しを行う。
- ・オープン例会がマンネリ化することに注意する。いきなりのRC例会出席は、インパクトが強すぎる。夜のRC説明会等で、ゆっくり語り合う機会を提供する。
- ・奉仕活動にゲストとして、入会候補者に参加してもらおう。

◎居心地の良いクラブへの取り組み

- ・例会前や例会後に会員対話の時間とスペースを作る
- ・スキンシップとしてのグータッチを行う
- ・先輩からの若手へのエールが力となる
- ・他のクラブとの交流。奉仕活動を合同で開催する

◎DEIについて

- ・相手に対していつも「寛容ビーム」を出し続ける
- ・意見の相違を受け入れる度量が必要である。
- ・まだ、DEIを受け入れない世代もあり、理解促進には時間がかかる。

今回のワークショップを通じて、各クラブのリーダーが、対話を通じて他者を知ることで学ぶ事が多くあることに気づき、各クラブで実践してほしいと願っています。そして、居心地の良いクラブとは、人間的に優しい人が多い空間であり、そのことを感じる時間であると思う。



【ロータリーの目的= ideal of service 相手を思いやり、人の役立つことである】

ご参加の皆さん、ありがとうございました。

地区青少年交換 来日学生サマーキャンプ報告

今年度も元気にスタート！！青少年交換サマーキャンプ報告

地区青少年交換委員長 岡田丈尋（東京福生 RC）

●コロナ禍を経て完全再開の初年度

地区青少年交換委員会では、今年度 10 カ国 11 名の青少年交換（アメリカ 2、メキシコ、ブラジル、タイ、スイス、オーストリア、フランス、ドイツ、ベルギー、フィンランド）と、ウクライナ支援として、青少年交換プログラムの枠組みを利用し、同国からの学生 1 名を受入れています。コロナ禍により、2019-20 年度交換学生の緊急帰国から、2 年間の交換中止。前年度の手探りからの再開を経て、やっと完全な状態で行える最初の年度となります。来日指定日の 2023 年 8 月 5 日に 11 名の来日学生が羽田空港、成田空港に到着し、ホストクラブ、ホストファミリーの熱烈歓迎を受けた後、サマーキャンプが行われる東所沢のコロンビアインターナショナルスクールに入りました。

●サマーキャンプとは？

サマーキャンプは、翌日 8 月 6 日に行われる開校式から数えて、9 泊 10 日の長丁場のオリエンテーション合宿です。来日学生はここで、遠足などのレクリエーションを挟みながら日本語の集中講座を受けます。その運営は ROTEX（帰国後 3～5 年目の派遣学生 OBOG）が担当します。毎日 5 名～10 名程度の ROTEX が学生たちと生活を共にしながら、プログラムを管理し、学生たちをサポートします。我々委員会メンバーも、各日 2 名ずつ 24 時間交替で帯同しますが、問題がない限り運営は全て ROTEX に任せます。このように当地区の青少年交換プログラムは、ROTEX の献身的な協力なしには成り立たず、彼らもまた派遣経験の延長上にある ROTEX 活動により、大きく成長します。

●今年度のサマーキャンプのプログラム

来日学生は、初日に日本語能力テストを受け、クラスをレベル別に 2 つに分けます。交換学生の様子を見



遠足（川越氷川神社）

ると、やはりどこの国の学生にとってもテストは嫌な様です。しかしテストの結果は、例年よりレベルが高く「上級 9 名、普通 3 名」とのことでしたが、人数調整をしたようです。また日本語の学習意欲も高く、夕食後のレクリエーションの時間でも日本語の宿題をやりたがる学生が多く、取り仕切る ROTEX も戸惑うほどの学習意欲でした。また日本語の先生を伴って、コンビニエンスストアでの買い物体験という実習も行いました。学生たちにとっては、日本での初めての買い物体験で、初めて見るお菓子里に目移りしたようで、楽しみながら学習したようです。

遠足も 2 回開催しました。1 回目は越谷レイクタウンへの買い物で半日遠足でした。買い物時間が短かったため、不完全燃焼の学生もいたようです。その日の夜は寮の食事ではなく、近所のスーパーで好きなものを買って食べました。2 回目は一日遠足で、7 日目から合流した派遣予定学生と共に川越街歩きと角川ミュージアムに行きました。この日は台風の影響で雨が降ったり止んだりでしたが、土砂降りの時は、移動中か建物内だったため、来日直後で傘を持っていなかったにもかかわらず、幸運にも濡れずに無事寮まで帰ってくる事が出来ました。また日本特有の夏の暑さには、慣れないようでした。

最終日前夜は恒例の BBQ ですが、残念ながら台風のため、学校のカフェテリアでのパーティーに変更になりました。テイクアウトで揃えた食事を囲んでのパーティーでしたが、いつの間にか音楽に合わせてダンスが始まり、たいへん盛り上がりました。他にも恒例となった水野パストガバナーによるロータリーセッション、カタカナで自分の名前を書く書道教室、風呂敷講座と盛りだくさんの 10 日間となりました。



初めて会った仲間たちとの濃密な時間を終え、これから一年間多くの方々のご協力により、彼らの日本での生活が始まります。地区のロータリアンの皆様、ホストクラブ・ファミリーの皆様、彼らにとって日本が特別な国になりますよう、どうぞよろしく願いいたします。

ロータリー平和センタープログラムとは？

平和フェローへの支援をお願いします！

地区ロータリー平和フェローシップ委員長 比留間 孝司（東京武蔵村山 RC）

ロータリー平和センタープログラムとは、ロータリー財団が世界の複数の大学と提携して平和センターを設置し、平和構築に貢献する人材の育成を図る奨学金プログラムです。具体的には、世界の8つの提携大学に7つの平和センターが設けられており、その1つが東京都三鷹市にある国際基督教大学 (ICU) なのです。2002年度のスタートから今年度で22期。ICU 平和センターでも今年度は9名が平和フェローとして受け入れられました。この内の2名を第2580地区がカウンセラーを担当致します。すでに今年度全体の初顔合わせ、そしてオリエンテーションも終え、平和フェローとしての活動を始めています。今年度、当地区が支援するお二人をご紹介します。

○ウペンド チティンカさん

カウンセラー：比留間孝司（東京武蔵村山 RC）



アフリカのタンザニア出身インドの大学にて経営学の学士号を取得。平和と紛争に関する多種多様なグローバル・トレーニングを受けました。

タンザニア平和紛争研究所やグローバル平和財団などでジェンダーアドバイザーを務め、また女性に対する暴力防止の団体も設立。国連とEUの女性に対する暴力防止プロジェクト「スポットライト・イニシアティブ」にも任命されました。またフェミニズムの視点を芸術分野にも及ぼし、女性アーティストの活動を支援するなど、特に女性のエンパワーメントの側面から、平和構築に取り組んでいます。

○グレイス コルビーさん

カウンセラー：前田利恵子（東京セントラルパーク RC）



米国ウィスコンシン州出身大学在学中から、肥料の持続可能性、地域住民への安全で安価な食品供給プロセス等の研究・実践活動に取り組んで

いました。大学卒業後には、アフリカのザンビアにてボランティア活動に従事し、食糧安全保障の確保・所得の公平性の実現・農村での起業スキルの向上を目的とした養殖環境の整備など、その内容は多岐にわたり

ました。今後はこうした知見を活かして、ジェンダー平等や、公正な食糧の生産と供給についての学びを深めます。また出身地のロータリークラブにて、ロータリーアクトの奉仕活動のアドバイザーをした経験もお持ちです。

○平和フェローと他のロータリー関連奨学生との違い

このように平和フェローには高度の学力があり、年齢的にも立派な大人です。カウンセラーといっても、青少年プログラムのカウンセラーとは勝手が違うところがあります。また何より学業(研究)に従事することが最優先です。米山記念奨学生のように世話クラブがあり、毎月の例会出席が求められるということもありません。つまり平和フェローと一般のロータリアンのとの接点が少ないのが実情です。ぜひ地区内のイベント等で見かけましたら、お気軽にお声がけください。

○寄付のお願い

今年度地区ロータリー財団委員会では、地区内ロータリアンお一人あたり230米ドル、という財団への寄付目標を設定致しました。さらにその内訳として基金区分ごとに、年次基金150米ドル・恒久基金30米ドル・ポリオプラス30米ドル・そして平和フェロー20米ドルとしております。既に地区研修協議会でご案内の通り、寄付目標の金額は最終的には各クラブにてご判断して頂くものです。それぞれの基金の意義をご理解いただき、バランスよくご寄付をお願いしたく存じます。平和フェローへの寄付は、ぜひ20米ドル以上のご寄付を頂きますよう、どうぞよろしく願い申し上げます。



ロータリーをより良くするために 規定審議会・決議審議会へ提案をしましょう！

地区立法案検討委員長 土居 岩生（東京お茶の水 RC）

●卓話のお願い

地区立法案検討委員会では、規定審議会および決議審議会に関する理解を深めていただくために、全クラブに対して、卓話の時間を利用して説明をすることにしました。もちろん理解が進んでいるクラブもあるかとは思いますが、ぜひ、卓話の機会を設けていただくとありがたいと考えております。

●規定審議会と決議審議会

卓話でお伝えする内容は、以下の通りです。

1. 規定審議会、決議審議会とは？



2022年規定審議会 ©ROTARY INTERNATIONAL

①規定審議会

規定審議会は、3年に1回開催され、前回は2022年4月に開催されました。次回は2025年4月です。規定審議会で審議される立法案は、「組織規定を改正しようとする制定案」と「RIの立場を表明しようとする見解表明案」の2つに大別されます。いずれも「国際ロータリー定款」、「国際ロータリー細則」、および「標準ロータリークラブ定款」の新設、廃止、改正にかかわる提案です。「制定案」を提案できるのは、クラブ、地区、RIBI 審議会または大会、規定審議会、および RI 理事会です。「見解表明案」を提案できるのは、RI 理事会のみです。クラブ、地区の提案の締め切りは、規定審議会の前年度の2023年12月31日です。

②決議審議会

決議案は、決議審議会としての意見の表明、つまり理事会へのお願いです。決議案を提案できるのは、クラブ、地区、RIBI 審議会または大会、および RI 理事会です。決議審議会は、毎年10月頃オンライン投票で開催されます。提案の締め切りは毎年6月30日です。

③制定案および決議案の承認

クラブおよび地区が提案する制定案および決議案については、地区大会または地区立法案検討会により承認を受けなければなりません。またガバナーがそれを証明する必要があります。地区からの規定審議会への提案は1回につき5件まで提出できます。

2. 審議結果の主なもの

今まで開催された規定審議会や決議審議会では、以下の提案が提出され、採決・否決されました。

④規定審議会

- ・22-35 雑誌購読を任意とする件（ブラジル他提案）
＜119：369で否決＞
- ・22-46 人頭分担金を増額する件（RI 理事会提案）
2023-24 年度 年 75 ドル
2024-25 年度 年 78.5 ドル
2025-26 年度 以降年 82 ドルに変更
＜285：205で採決＞
- ・22-59 RI 理事会による見解表明案の提案締め切りを「いつでも提案できる」から「開催前の12月31日までに提案できる」に変更する件（2580 地区提案）
＜258：217で採決＞
- ・22-71 クラブの管理の試験的プロジェクト [SRF（ロータリーの未来形成）] に関係するものについて規定する件（RI 理事会提案） ＜324：150で採決＞

⑤決議審議会

- ・22-R06 理事会会合議事録へのアクセスと読みやすさの改善を検討するよう RI 理事会に要請する件（2580 地区提案） ＜365：86で採決＞
- ・22-R13 文化の発展に焦点を当てた新しい重点分野を指定することを検討するよう管理委員会に要請する件（イタリア提案） ＜61：391で否決＞

●制定案および決議案の提案のお願い

各クラブ会長宛に「制定案および決議案の提案のお願い」を8月7日に送信しました。制定案の締め切りは3年に1回、決議案は毎年6月30日が提出期限です。締め切りはありますが、それにこだわることなく、いつでも提案をしてください。また質問・疑問がありましたら、お問い合わせください。

メンタルヘルス不調への気づき～不眠について～

医学博士・産業医 矢島 新子（東京神田 RC）

●メンタル不調の初期症状としての不眠

10年以上前に全国規模で配布された内閣府が作成した自殺対策キャンペーンのポスターを紹介します。「お父さん眠れてる？」と大きな文字とともに父と娘のイラストが描かれ、大変分かりやすくかつインパクトがあるので、一般の人に説明するときによく使います。



なぜそんなに不眠が良くないのでしょうか。私自身、心療内科で仕事をするまで、睡眠についてはそれほど気にしていませんでした。医師という業種柄、「24時間戦えますか」という昭和の宣伝文句を地で行く文化が色濃く残っており、「眠れないなら仕事すればいい」くらいに思っていました。

しかし、多くの患者さんを見て「眠れないことがこんなにも病気の原因になるのか」と大変驚きました。昔は「眠れない」と不安を訴える患者さんには「寝れなくても死なないから心配しないでください」と伝えるよう指導されていましたが、現在では「不眠は万病のもと」が常識となっています。不眠が続くことは自殺の大きな要因となる「うつ」を始め、「体と心の病気」のサインのことがあります。心の不調症状は様々ですが、不眠は、気分の波や抑うつ感、不安感などの心理的症状に比較して、自分も周囲も気づきやすいポイントです。

自殺者の4割を占める中年男性は『弱音を吐きにくい』立場にいますが、不眠なら口にしやすいことが大切なポイントです。私の相談者には、「家族や部下がメンタルヘルス不調ではないか？」と思うが、本人に「受診したら？」と伝えにくい。または受診を勧めても拒否されてしまったといったことがよくあります。しかし、不眠であれば家族が簡単に気づきやすく、このような啓発ポスターが全国に配布されたのでした。

●不眠と睡眠不足の違い、不眠の種類

不眠とは、眠ろうとして寝床に入っても寝つきが悪いなど、眠るのが困難で質のよい睡眠を得られない状態です。一方、睡眠不足は、睡眠をとる時間が十分に確保できていない状態です。不眠も睡眠不足も、日中の眠気の原因となるだけではなく、何日も続くとさまざまな心身の不調の原因となります。不眠の種類は入眠障害、中途覚醒、早朝覚醒、熟眠障害の4つです。入眠障害とは身体が疲れていて、寝付きたいのに寝付くことができないタイプ、中途覚醒とは一度寝付いたのに何度も目がさめてしまうタイプ、早朝覚醒は目覚める予定の時刻よりも、大幅に早く目が覚めてしまう不眠症です。活動量の低下や日光を浴びる時間が短いことが原因になりますが、うつ病の初期症状としても重要です。熟眠障害とは、寝ているつもりでも、朝に目が覚めるとなぜか疲れているというものです。日中の疲労感から仕事に集中できない、また精神的なダメージも大きいものです。

●不眠には早めの対処が大切

不眠症は睡眠の長さが問題ではなく、起床時の倦怠感や、日中の生活で支障をきたすほどの症状になった状態が問題なのです。そのため睡眠時間が短くても目覚めが良ければ、過度に神経質になる必要はありません。しかし、最も気がかりなのは、**精神的な疾患の初期症状の可能性**です。不眠症を早めに治療することにより、その他の精神疾患の合併を予防できます。また、不眠症だと思って受診したところ、実は「うつ症状」の一部だった、ということもよくあります。精神科・心療内科の受診のハードルが高いことから、忙しいなどと言いつつ受診が遅れるケースをよく見かけます。不眠症状が継続するようなら、まずは専門医の受診をお勧めします。

矢島 新子（やじま しんこ）

1999年ロータリー財団奨学生としてパリ第一大学大学院留学、医療経済専攻。東京医科歯科大学医学部を卒業後、研修医を経て博士課程にて健康推進医学専攻。その間、WHOのコンサルタントとしてラオスで活動。産業医の活動の中、メンタルヘルスの重要性を痛感し東京女子医科大学女性生涯健康センター（閉院）にてメンタルケアを学びながら10年間外来を担当。ドクターズヘルスケア産業医事務所設立。産業医・保健師による産業保健サービス提供、特にメンタルヘルス対策、企業研修、休職・復職支援などを実施している。

著書「ハイスベック女子の憂鬱」洋泉社

「健診・人間ドッグはもうやめなさい」アーク出版 など多数

連載「メイクアップ」に行こう!③

ロータリー飯「武蔵野うどん」 東京東村山ロータリークラブ

公共イメージ担当 平野 裕明

●多摩地域に根づくうどん文化



例会場のある八坂神社

東京東村山ロータリークラブは、東村山市の緑豊かな八坂神社で例会を行っています。毎月第四週の例会のランチは、周辺地域

で、古くから食べられてきたうどんである「武蔵野うどん」が提供されます。多摩地域は、米作に不可欠な水源に乏しいため、江戸時代から小麦・大麦を中心とした農業地帯として発展してきた経緯があるため、うどん文化が庶民の食べものとして花開きました。年配の会員からは冠婚葬祭の時にはうどんを振舞ったものだというお話を伺ったりします。



●「武蔵野うどん」の特徴

1) 太い麺

武蔵野うどんは、他のうどんと比べて太い麺が特徴です。太い麺はもっちりとした食感を楽しむことができ、しっかりとした歯ごたえがあります。

2) つゆ

つゆ（出汁）も武蔵野うどんの特徴的な要素です。通常、鰹節や昆布から取った出汁をベースに、醤油やみりん、砂糖などで調味されます。このつゆが麺と絶妙に組み合わせたり、独特の味を生み出します。



2023-24年度 中條会長 榎本幹事

3) 薬味

武蔵野うどんでは、薬味と言わずに「かて」と言うそうです。茹でたほうれん草やだいこん、ナス等、農家でとれる普通のありふれた野菜を熱々の肉汁に入れて食べるのだそうです。

もっちりとした食感の太めの麺に、豚バラ肉が入った濃厚な肉汁がよく合う。派手さや華やかさはなくとも、なんだかホッとする《田舎のうどん》です。

●「武蔵野うどん」の名店が立ち並ぶ東村山

東村山市には、そんな「武蔵野うどん」の名店が多数あります。東京東村山ロータリークラブでは、昔ながらの手作りに拘った「手打ちうどん こせがわ」のうどんを、第四週に楽しむことができます。

東村山と言えば、東村山駅東口に銅像がある《志村けん》さんが有名です。「手打ちうどん こせがわ」は彼が愛したうどん屋さんとして、知る人ぞ知る名店なのです。

手打ちうどん こせがわ

〒189-0021 東京都東村山市諏訪町1丁目23-5
電話： 042-391-3440
営業時間： 11:00～14:00
定休日： 日曜日・毎月最終月曜

当クラブの例会は、他の地域からメイクアップされたロータリアンにとって、「多摩の文化」を感じる素晴らしいロータリー飯となるのではないのでしょうか？ぜひ、東京東村山ロータリークラブにお越し頂き、「武蔵野うどん」をご賞味ください。

2023年8月29日(木)卓話者
嶋村文男地区拡大増強委員長

クラブデータ：東京東村山 RC

例会日 毎週木曜日 12:30～
例会場 八坂神社 社務所
(東京都東村山市栄町 3-35-1)
ビジターフィー 1,500円
クラブ事務局
TEL: 042-393-7500
E-mail: info@hm-rc.org
Web: https://hm-rc.org/
<例会予約フォーム>
https://hm-rc.org/participation_in_meeting



例会予約 QR コード

ご厚意に対し、深く感謝申し上げます

▶マルチプル・ポール・ハリス・フェロー

- 6回 宇津木 奈保美 [東京ワセダ]
松田 賢基 [浦添]
5回 清水 宜夫 [東京神田]
4回 廣瀬 元夫 [東京神田]
中島 弘人 [東京ワセダ]
茂手木 克央 [東京東江戸川]
2回 小林 勝義 [東京神田]
1回 渡邊 順彦 [東京西北]
藤井 城 [東京神田]
金井 一成 [東京神田]
松本 宗己 [東京神田]
大家 正光 [東京神田]
鈴木 寛 [東京神田]
井上 和賢 [東京ワセダ]

▶ポール・ハリス・フェロー

- 穴吹 ゆみ [東京神田]
松本 博之 [東京神田]
小内 賢一 [東京東江戸川]
永井 正己 [東京東江戸川]

▶米山功労者・メジャードナー

- 32回 鈴木 喬 [東京江北]
24回 小原 武夫 [東京練馬西]
18回 海老沼 孝二 [東京江北]
13回 細谷 彬 [東京麴町]
10回 峯岸 芳幸 [東京練馬西]
長與 博典 [東京後楽]

▶米山功労者・マルチプル

- 8回 林 一好 [東京本郷]
6回 関口 眞司 [東京江戸川]
5回 原田 寛 [東京江北]
2回 岩崎 和浩 [東京江北]
油井 健一 [東京臨海西]
小町 幸生 [東京東村山]

8月31日分まで 敬称略、順不同

第2580地区クラブ数・会員数

○2023年8月31日時点

- クラブ数 73RC
正会員数 2,988名 (内女性266名・8.90%)
入会者数: 19名 (内女性3名)
退会者数: 10名 (内女性2名) 純増: 9名
正会員数 2,874名 (内女性251名 8.73%)
純増: 114名

「世界ポリオデー」日経新聞全面広告掲載

佐藤 RI 理事の呼びかけに基づき、この計画に賛同する地区による多地区合同事業により、日本経済新聞社全国版広告として、ポリオ根絶活動に関わる記事を掲載することになりました。本年も「ポリオ・デー」行事、「フォト・コンテスト」、「専用ポータルサイト」を継続するとともに、「日本全国津々浦々作戦」の一層の盛り上がりをも、この新聞広告により期待しています。掲載時期は、**2023年10月14日～23日**のいずれかの日程で掲載される予定です。皆様、日経新聞にご注目ください。



2023年10月 主な予定

- 10月5日(木)
○青少年交換来日学生・派遣予定学生オリエンテーション (学士会館)
10月6日(金)
○在京・クラブ活性化ワークショップ
「ポリオ根絶活動と公共イメージ」(明治記念館)
10月7日(土)
○東京東江戸川 RC 創立 55 周年記念式典・祝賀会 (東武ホテルレバント)
10月11日(水)
○東京お茶の水 RC 創立 30 周年記念式典・祝賀会 (如水会館)
10月13日(金)
○古宮誠一パストガバナーお別れの会 (帝国ホテル)
○沖縄・クラブ活性化ワークショップ
「ポリオ根絶活動と公共イメージ」 (パシフィックホテル沖縄)
10月20日(金)
○日台ロータリー親善会議・晩餐会 (台北マリオットホテル)
10月21日(土)
○東京江戸川中央 RC 創立 30 周年記念例会 (母畑温泉八幡屋)
10月24日(火)
○ポリオ根絶チャリティーディナーパーティー (帝国ホテル)
10月28日(土)
○(沖縄) RLI パート II (沖縄県男女共同参画センターていりる)
10月31日(火)
○中央分区・北分区・東分区 職業奉仕に関する意見交換会 (アルカディア市ヶ谷 私学会館)